

請に基づき緊急消防援助隊5人を派遣した。

兵庫県芦屋市は19日、22日、がれき撤去作業などにあたる職員5人を派遣する。阪神大震災時、熊本市から支援を受けており、担当者は「恩返しをしたい」としている。大阪市も、「21大都市」の災害時相互応援協定に基づき、建設局職員4人を熊本市に派遣した。

再開や心のケアなどにあたった。

真宗大谷派の本山・東本願寺（京都市下京区）は15日、被災者にインスタント食品や飲料水などを送った。避難所となっている県内の寺院などで分配するという。職員5人も派遣し、現地で約1週間がれき撤去などに携わる。東本願寺や大谷祖廟（京都市東山区）には救援金箱を設け、参拝客に協力を呼びかけている。

# AMDAなど支援

官民が被災地の支援を本格化している。

国際医療NGO「AMDA」（岡山市）は15日、災害支援協定を結ぶ岡山県総社市と合同チームを熊本県益城町に派遣した。看護師や市職員ら計7人が、避難所に届ける医療用品やマスク、おむつなどと共に車で現地へ向か

った。福岡市で医師1人が合流するという。

兵庫県教委は16日、被災した学校を教職員が支援する「震災・学校支援チーム（EARTH）」から3人を派遣する。チームは阪神大震災後の2000年4月に設立され、東日本大震災後の被災地でも学校教育活動の早期

中国管区警察局は15日未明、広島、鳥取、島根、岡山、山口の5県警の広域緊急援助隊などの計240人を派遣し、救助活動にあたっている。中国地方整備局は午前3時ごろ、緊急災害対策派遣隊の先